

JICA 研究所 公開シンポジウム

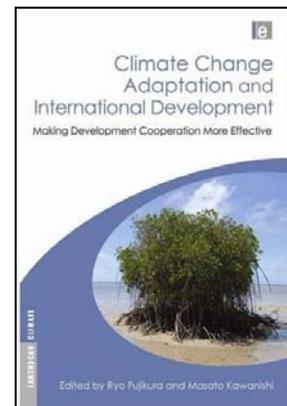
Climate Change Adaptation and International Development

－気候変動に対する国際協力の展望－

主催： 独立行政法人国際協力機構 JICA 研究所
 後援： 環境省
 日時： 2011年2月1日（火） 13：30～16：00
 会場： JICA 研究所 国際会議場
 言語： 日本語

JICA 研究所は昨年、アジアおよびアフリカの気候変動における適応策の事例や、適応策への国際的な取り組みをまとめた書籍、『Climate Change Adaptation and International Development: Making Development Cooperation More Effective』（Earthscan 社）を出版いたしました。

今回のシンポジウムでは書籍出版の報告も兼ねて、開発途上国における適応策の事例を紹介し、課題や問題点を取り上げながら、今後の国際協力への在り方を探っていきたいと思います。さらに、気候変動適応策と緩和策に対する国際社会の潮流と今後の展望に焦点を当て、日本の役割について議論します。



【プログラム】

13:30－13:40	開会あいさつ：恒川恵市（JICA 研究所 所長）
13:40－14:00	気候変動適応策と国際協力： “Climate Change Adaptation and International Development” の目的と概要 藤倉良（JICA 研究所 客員研究員、法政大学 教授）
セッション1 途上国における適応策の事例研究（各報告後に質疑応答）	
14:00－14:25	気候モデルを用いた気候変動予測への取り組み：アジア諸国の事例 楠昌司（気象庁 気象研究所 気候研究部第一研究室（気候モデリング）室長）
14:25－14:50	アフリカにおける適応策の事例：アフリカ農村の事例 高間剛（JICA 専門家 JICA 気候変動対策能力強化プロジェクト サブチーフアドバイザー／脆弱性評価）

－ 休憩 －

セッション2 気候変動政策と国際協力（各報告後に質疑応答）	
15:00－15:25	気候変動に対する国際的な取り組みと JICA の役割：COP16 をふまえて 升本潔（JICA 地球環境部気候変動対策室 参事役）
15:25－15:50	国際社会における適応策と緩和策に関する議論：COP17 に向けて 久保田泉（国立環境研究所 社会環境システム研究領域 環境経済・政策研究室 主任研究員）
15:50－16:00	閉会あいさつ：加藤宏（JICA 研究所 副所長）